

日本 OP 協会加盟クラブ/団体各位

2021 年 日本 OP 協会 (JODA) 主催レースの開催及び  
日頃の活動に関するガイドライン  
(新型コロナウイルス COVID-19 の影響)

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大に振り回された 2020 年を終え、新たに 2021 年を迎えました。新型コロナウイルスに罹患された方やそのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げますと共に、感染予防、治療のためにウイルスと闘って下さっている医療従事者の皆様に心より感謝の意を表します。

この感染拡大はとどまることなく、再度の「緊急事態宣言の発出」に至る状況となってしまいました。

セーリングというスポーツの特性上、海上での感染リスクは低いと考えられますが、特に JODA イベントの際には都道府県を跨ぐ移動が伴うケースが多いため、活動の会場以外も含めると決して感染リスクが低いとは言いきれません。JODA 主催のレースの開催方針・基準を以下にご案内いたします。

また、皆様の通常の活動などにおいても以下の事項へ留意を頂き、安全な活動をして頂けますようお願い申し上げます。万が一、新型コロナ感染症を発症した場合は、感染拡大を防ぐために速やかに報告を頂けますようお願い申し上げます。(報告先：JODA 事務局 [joda-office@japan-opti.com](mailto:joda-office@japan-opti.com))

皆様には様々な制約の中で、ご不便をお掛けしておりますが、安全最優先で活動をして頂けますよう、何卒ご理解をお願い申し上げます。

記

1. ナショナルチーム選考会 (2 次選考会) 2 月 19-23 日 愛知県蒲郡

現在のところ開催の方向で準備をすすめておりますが以下を判断基準としています

1) 開催の判断基準

- ① 「緊急事態宣言」が解除されていること
- ② また「緊急事態宣言」解除後、大会までに必要な準備期間があること
- ③ その他、行政の示す開催判断基準、ガイドラインを満たしていること
- ④ 選手、サポーター、運営スタッフが予防策を講じることにより安全に参加できると判断できること

2) 判断のタイミング

2 月初旬に開催可否の判断を行います

但し 2 月初旬に可否の判断した場合でも、状況の変化により変更する場合があります

3) 大会の延期

2 月 19-21 日の日程で開催出来ないと判断した場合、3 月下旬へ延期する可能性がありますその日程は追ってお知らせします

2. その他の JODA 主催レース

- 1) OP 東西選手権 (2021 年 8 月ごろの予定)
- 2) 全日本 OP チームレース選手権 (2021 年 9 月ごろの予定)
- 3) 全日本 OP 選手権 (2021 年 11 月ごろの予定)

これらのレースについては都度、状況を見て適宜、開催の判断を致します。

### 3. 活動に関するお願い

#### <海上での活動>

- 1) プロテストなど大きな声を出す必要のないように、ハンドシグナルや赤旗などを活用する
- 2) 特に密になるスタートラインやマーク周辺では大きな声を出さないように注意する
- 3) 指導者、コーチはメガホン、ホイッスルの使用は止め、電子ホイッスル、エアホーンなどで代用する
- 4) サポートボートの乗員は、定員の 1/3~1/2の人数としマスクを着用する
- 5) 選手は海上ではマスクは不要だが、着艇後には速やかにマスクを着用する
- 6) 極力、活動時間を短縮するべく工夫をする（半日とする、海上で食事をとるなど）

#### <陸上での活動>

- 1) 日々、体調と体温チェックを行い、異常時は活動へ参加しない
- 2) 活動へ参加する指導者、保護者は極力、最小限の人数とする
- 3) 陸上では常にマスク着用
- 4) こまめに手洗い、アルコール消毒を行う
- 5) 三密（密閉・密集・密接）にならないように以下については細心の注意をする
  - ①ミーティング（開放し換気した状態で行い、15分以下の短時間で行う）
  - ②シャワールーム・更衣室（定員の半数以下の人数制限を設けることが望ましい）
  - ③トイレ（定員の半数以下の人数制限を設けることが望ましい）
  - ④食事（他の人と距離をとって座る。また海上にて各艇で食事をとることも良い）
  - ⑤艀装、解装（隣の選手と距離を取り、不要な会話は避ける）
  - ⑥陸上で待機する保護者も大人数で“おしゃべり”をしないようにする
- 6) 各人の出したゴミ（弁当、飲み物）はゴミ箱へ入れず、各自で持ち帰る
- 7) 「風待ち、休憩時間など」の自由時間が発生した場合も、大人数が集まらないように配慮する。長い風待ちならば活動を切り上げることも必要
- 8) 陸上トレーニングは避け、トレーニングは各自が自宅で行う
- 9) 各人の所属するクラブ、学校に特別な指示がある場合は、必ずその指示に従う

#### <遠征等、他所での活動>

- 1) 行政、受け入れ側からの「制限」がある場合は、その指示に従う
- 2) 自身の所属クラブ、受け入れ先（ハーバー、クラブ）と参加の調整は慎重に行い、互いの了承のもとに活動する
- 3) 移動、宿泊、食事は家族単位で行う
- 4) 懇親会、会食などは自粛する
- 5) 引率する指導者、保護者は最少人数とする

#### <その他>

セーリング競技規則（RRS 第 1 章 基本原則）にも記載されている通り、選手、サポーター共に、陸上海上を問わずスポーツマンシップ、フェアプレーの原則および、一般常識から逸脱した行為がないようにご注意ください。ナショナルチーム認定については認定を取り消されることがあります。

以上